

中国、脱炭素により経済加速か

ポイント① 中国経済の成長は鈍化

中国の7-9月期GDP（国内総生産）は前年同期比で4.9%増と成長している一方、4-6月期の7.9%増と比較すると鈍化しています。背景には世界的な物価上昇に加え、7月以降の河南省での洪水、不動産市場の混乱等があるようです。また、石炭価格の高騰等により、電力供給に制限をかけており、製造業では生産量が抑制される動きも見られました。

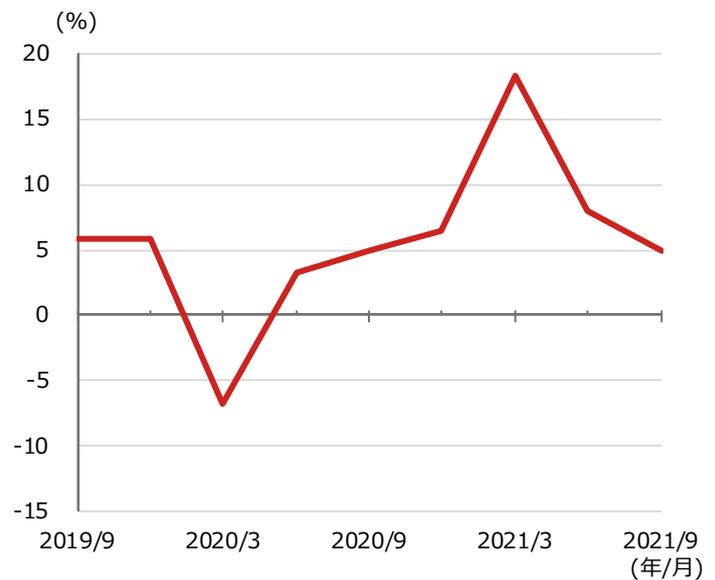
ポイント② 脱炭素関連の企業は成長か

中国全体の成長ペースは鈍化していますが、一部のセクターは強く伸びています。国営の電力送配電会社の国家电网では、2025年までに水車を回して発電する揚水発電の設備を増設し、発電容量を合計2,000万キロワット以上増やすことを目標としています。また、電気自動車（EV）産業を見ると、三菱自動車から昨年販売された約50万円のEVが人気を博し、国内での販売台数は全自動車の中で2番目に多くなっています。10月31日～11月13日に開催されたCOP26（国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議）で、米国との気候変動対策に関する共同宣言を発表しており、カーボンニュートラル関連の企業は今後も成長しそうです。

ポイント③ 脱炭素による経済効果に期待

中国は2060年までに二酸化炭素等の排出を実質ゼロにすることを目標としており、それに伴う企業の設備投資や雇用創出が活発になると、GDPの押し上げが期待できるでしょう。世界的に気候変動対策の必要性が増すなかで、中国の大規模な脱炭素への取り組みは、世界の産業構造にも変化をもたらす可能性がある為、今後の動向には注目です。

中国の実質GDPの推移（前年同期比）



期間：2019年7-9月期～2021年7-9月期、四半期
 (出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

カーボンニュートラルの目標

	2025年	2030年	2060年
非化石エネルギー消費の割合	約20%	約25%	80%以上
GDPあたりのエネルギー消費量	2020年比で▲13.5%	大幅に引き下げる	利用効率を国際先進水準に
森林被覆率	24.1%	約25%	-

(出所) 中華人民共和国国務院の意見文より野村アセットマネジメント作成

重要イベント

- 11月30日 中国製造業、非製造業PMI（購買担当者景気指数）（11月）
- 12月7日 中国貿易収支（11月）

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。